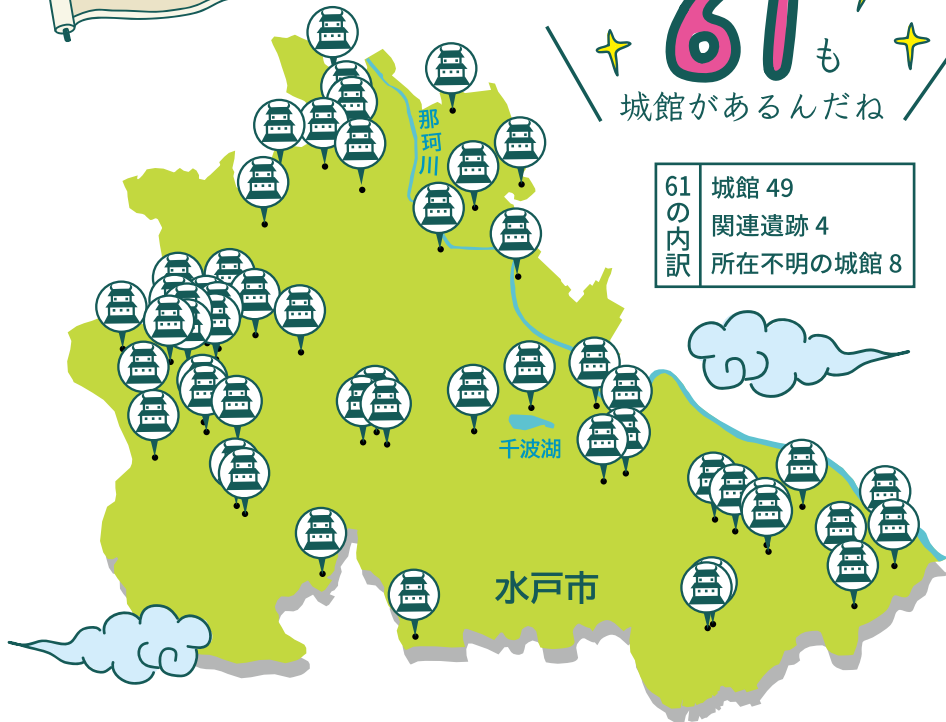




# 水戸の城館MAP

# 61

も  
城館があるんだね



水戸の城についての連載を  
始めるぞー



問合せ／歴史文化財課 (☎306・8132)

# 水戸の城さんぽ

其の一

このマップは『茨城県の中世城館』(茨城県教育委員会・令和5年発行)をもとに作成しています

## 水戸の城館じょうかん

### 市内にお城がこんなに!?

「城」と聞いて、皆さんはどんな姿を思い浮かべますか？

水をたたえた広い堀からそびえる石垣、瓦葺きの天守閣——そんなイメージを抱いている方が多いのではないだろうか。

実はそのような城は、江戸時代に発達した形態の城。国内には3〜4万もの城があったと考えられています。江戸時代に存在した城は約200程度で、全体の1%にも及びません。日本の城の99%以上は、平安時代の終わり頃から安土・桃山時代に、大地を削ったり、盛ったりして築かれた土造りの中世城館なのです。

ここで、「城館」という用語について説明しましょう。城とは、土塁や堀といった防御施設が備えられたものが一般的です。ところが、城跡をよく調べてみると、土塁や堀があったとしても、簡単に乗り越えたり、またいだけるような、とても防御には向かない開放的なものも、かなり多く存在していることが分かります。こうした開放的なタイプの多くは、地方領主の館跡やうたあとと考えられています。つまり、「城」は防衛重視の閉鎖的なもの、

「館」は統治中心の開放的なもの——という整理ができますが、実際にはその中間的なタイプが沢山あり、はっきり分類することはできません。そのため、城と館を合わせた意味を持つ「城館」という用語が生まれました。日本の城の多様さをよく表した用語といえるでしょう。

さて、市内に城館はいくつあるのでしょうか。平成30年度〜令和4年度の5年間をかけて、県教育委員会が「中世城館跡総合調査」という学術調査を行い、県内全域にいくつ城館があるのかを調べました。

その結果、県内では1250、市内では61の城館の存在が確認できました。この中には関連遺跡や伝承地、所在不明城館などが含まれており、より詳しい検証が必要なものもありますが、総数が把握できたのは画期的な成果といえます。

市内で確認された61の城館は、知名度の高い「水戸城」などのほか、村人が守った「村の城」や、領主間の対立の最前線に築かれた「境目の城」など、バラエティに富んでいます。そこで次回からは、総合調査の成果をもとに、水戸の多様な城館の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。どうぞご期待下さい。

歴史文化財課 関口慶久

【発行】水戸市 ☎029・224・1111(代表)  
〒310-8610 水戸市中央1-4-1  
ホームページ / <https://www.city.mito.jp/df>

【編集】みとの魅力発信課 ☎029・222・9107  
☎029・224・5188 [kouhou@city.mito.jp](mailto:kouhou@city.mito.jp)